

奇病研究委に改称

湾内の魚介類を調査

水俣市奇病対策委員会では十九日午後三時から県水俣保健所で役員会を開いた結果、このほど地元漁民の間に被害対策委員会が結成されたのを機会に名称を奇病研究委員会と改めることに決めた。

会長には同市岩本医師会長が選ばれたが、同研究委員会は地元でやった方が都合のいいような研究を行ふもので、主として、水俣湾で獲られる魚介類の試育、奇病と関係があると思われる不口の病因などについて調査する。委員は二〇人。